

コンピュータチェック事例コード

48SJ991069102

コンピュータチェック内容

支台築造（間接法）の算定があり、初診料の算定日以降に支台築造印象の算定がない場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

支台築造印象の算定がない間接法による支台築造の算定は過剰と判断する場合があります。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1 万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数

2 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)

コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

➤ 全国の査定・返戻割合 90.95%

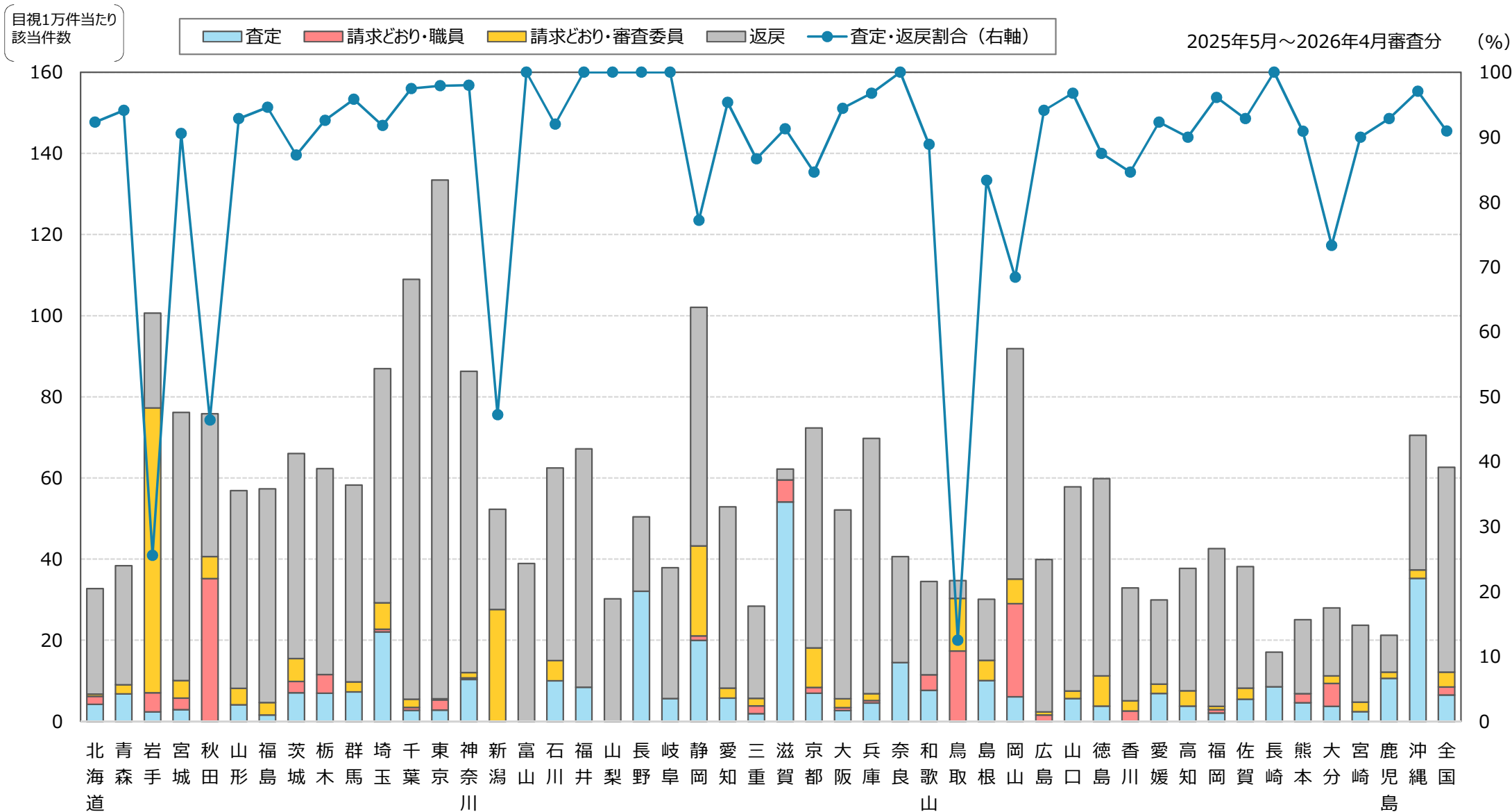
➤ 検証対象都道府県 10

検証観点	都道府県	備考
査定・返戻割合が低い	鳥取、岩手、秋田、新潟、岡山、大分、静岡、京都、茨城、徳島	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	秋田、岡山、鳥取、大分、岩手、茨城、京都、静岡	対象 1 万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	岩手、新潟、静岡、鳥取、京都、徳島、岡山、茨城、秋田、大分	〃

該当件数（全国）	当該コンピュータチェックの内容に該当	2,585件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	2,351件
検証を必要とする審査	請求どおり	234件

コンピュータチェック対象:支台築造（間接法）（1 歯につき）

歯科



【該当件数】 当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数